

「アートフェスタふじみ野 2017」手話うた・手話ダンスの普及のために
文京学院公認キャラ「tomo ちゃん」手話ダンスを公開

8月1日より文京学院大学 You Tube 公式アカウントにて

文京学院大学は、「共生のまちづくり」をテーマに、10月7日(土)にふじみ野市で開催される、産学官連携事業「アートフェスタふじみ野 2017」に参画しており、「手話うた・手話ダンスプロジェクト」を文京学院大学学生、ふじみ野高校生徒を中心に推進しています。当プロジェクトのメインイベントとなる、手話うた・手話ダンスの普及とイベントの成功を目標に、2017年8月1日(火)より、文京学院公認キャラクター「tomo ちゃん」が、You Tube 上で手話ダンスのデモンストレーションを行い、その動画を公開いたします。

「手話うた・手話ダンスプロジェクト」の背景および「tomo ちゃん」動画公開の目的

「アートフェスタふじみ野 2017」は、イベント開催当日までのプロセスを大切にし、それまでのあいだに、「福祉」、「ソーシャル・インクルージョン(社会的包摂)」、「ダイバーシティ(多様性)」をテーマに、学習会や様々なアクティビティに取り組み、地域のつながりを創り出し、共生の文化を広げていくための活動を実施していきます。本学では、このイベントのために教員たちがオリジナルの楽曲をつくり、本学手話サークルの学生が中心となって、手話うた・手話ダンスを考案いたしました。当日は本学の学生とふじみ野高校の生徒で組織された「学生高校生実行委員会」が会場で手話うたと手話ダンスを披露するとともに、フィナーレでは参加者全員で手話うたを歌うことで、地域のつながりを確かめ合いたいと考えています。イベントの成功と手話うた・手話ダンスのさらなる普及のために、その目的の一環として本学のイメージキャラクター「tomo ちゃん」を起用し、動画を制作・公開することで、多くの参加者、協力者を募ります。

公開動画「まちのこえ そらのおと tomo ちゃん Ver」概要



- ・うた ピーナッツ(宮脇健太)／ダンス・振付 HARUKA&YURI
- ・作詞 木村浩則／作曲 渡辺行野／編曲・演奏 梶原隆之
- ・プロデュース 文京学院大学人間学部 手話うた・手話ダンスプロジェクト
- ・公開動画 URL: <https://youtu.be/QPvvkH06mGg>

文京学院公認キャラクター「tomo ちゃん」について

本学園創立 85 周年事業(2009 年)として、キャラクター募集を行い、文京学院のキャラクターとなりました。「共に生き、友と生き、世界に明かりを灯(tomo)す人材を作ろう」という想いがこの愛称には込められており、本学の教育理念である「共生」をイメージできるキャラクターです。

< 文京学院大学について >

1924 年、創立者島田依史子が島田裁縫伝習所を文京区に開設。教育理念「自立と共生」を根源とする先進的な教育環境を整備し、現在は、東京都文京区、埼玉県ふじみ野市にキャンパスを置いています。外国語学部、経営学部、人間学部、保健医療技術学部、大学院に約 5,000 人の学生が在籍する総合大学です。学問に加え、留学や資格取得、インターシップなど学生の社会人基礎力を高める多彩な教育を地域と連携しながら実践しています。